



KUMAGAI GUMI

———— Building the future

第 **76** 期

中間株主通信

平成24年4月1日▶▶▶平成24年9月30日

株式会社 熊谷組

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成24年9月30日をもって第76期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の前半を終了いたしましたので、ここに上半期の概況についてご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、震災復興関連需要などから国内需要は底堅く推移したものの、海外経済の減速を背景として生産や輸出が減少し、景気は緩やかな回復基調から足踏み状態となりました。

建設業界におきましては、公共投資は震災復旧関連予算の執行により増加を続け、民間設備投資及び住宅投資も持ち直しの傾向にありますが、激しい価格競争に加え労務費を中心に建設コストが高止まりしており、総じて厳しい事業環境となりました。

当上半期の当社グループの連結業績につきましては、売上高は、前年同期比0.4%減の1,099億円となりました。利益は、完成工事総利益率の低下により、営業損失は11億円、経常損失は14億円となり、第2四半期の四半期純損失は特別損失、法人税等の計上により20億円となりました。

今後のわが国経済は、国内需要は底堅さを維持すると見込まれますが、海外経済のさらなる下振れや金融・為替市場の変動等の不安定要素が多く存在する状況のなかで、景気は当面横這い圏内の動きにとどまるものと思われます。

建設業界におきましては、公共投資は震災復興関連予算の執行が進むもとで引き続き増加することが見込まれ、民間建設投資や住宅投資も建物の修復や再建及び耐震化などの復興需要の影響等もあり堅調に推移するものと予測されます。

このような状況のもと当社グループは、さらなる経営の効率化及び利益管理の徹底により、



取締役社長

大田 弘

収益力及び市場競争力の向上を目指してまいります。

土木事業につきましては、官庁工事において、参加案件の選択と集中の徹底及び技術提案力の強化に注力いたします。民間工事においては、迅速かつ戦略的な営業体制を構築し、電力、鉄道、環境及びリニューアブル分野を中心に受注確保を図ってまいります。

建築事業につきましては、施工する建築物の品質確保はもとより、営業・生産・アフターケアなど全ての段階においてお客様のご期待にお応えし、パートナーとして強固な信頼をいただくとともに利益管理の徹底を図ることにより、受注の拡大及び収益の確保を目指してまいります。

また震災復旧・復興事業におきましては、迅速かつ円滑な執行が課題とされておりますが、当社グループも施工者として、被災地域の皆様に一日も早く安全・安心をお届けできるよう、グループの総力をもって取り組んでまいります。

当社グループといたしましては、引き続き「お客様に感動を」をスローガンとして掲げ、より高い水準の安全と品質の確保に努め、誠実な営業、誠実な施工、誠実なフォロー、法の完全遵守を徹底し、「どこよりも信頼される誠実な企業」の実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ 企業集団の財産及び損益の状況の推移

(百万円)

区 分	前上半期	当上半期	前 期
売 上 高	110,358	109,903	257,581
四 半 期 (当 期) 純 利 益 又 は 四 半 期 純 損 失 (△)	△85	△2,094	1,593
1 株 当 た り 四 半 期 (当 期) 純 利 益 又 は 四 半 期 純 損 失 (△)	△0円47銭	△11円42銭	8円79銭
総 資 産	175,019	180,430	200,568

単体の業績について

受注高は、前年同期比36.2%増の1,139億円となりました。このうち、土木工事は244億円、建築工事は895億円であり、これらの発注者別内訳は官庁22.7%、民間77.3%であります。なお全額が国内工事であります。

売上高につきましては、同3.5%減の816億円となりました。このうち、土木工事は251億円、建築工事は564億円であり、これらの発注者別内訳は官庁20.9%、民間79.1%であります。国内、海外別でみますと、国内工事は816億円、海外工事は1千万円であります。

この結果、下半期への繰越高は、同23.5%増の2,275億円となりました。このうち海外工事は1億円であります。

利益につきましては、経常損失は15億円、第2四半期の四半期純損失は19億円となりました。

■ 受注高・売上高及び繰越高 (平成24年4月1日から平成24年9月30日まで) (百万円)

区 分	受注高	売上高	繰越高
土 木	24,427	25,133	70,806
建 築	89,525	56,493	156,703
合 計	113,952	81,627	227,509

■ 財産及び損益の状況の推移 (百万円)

区 分	前上半期	当上半期	前 期
受 注 高	83,608	113,952	208,479
売 上 高	84,637	81,627	198,530
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失(△)	△27	△1,968	621
1株当たり四半期(当期)純利益 又は四半期純損失(△)	△0円15銭	△10円66銭	3円40銭
総 資 産	138,629	142,166	160,124

■ 主な受注工事及び完成工事

受注工事

- 東西線南砂町駅始端部工区改良土木工事：東京地下鉄株式会社
- 県立尼崎・塚口統合新病院第1期建築工事：兵庫県
- 愛知学院大学名城公園キャンパス建設工事：学校法人愛知学院
- (仮称) 相模原市中央区淵野辺1丁目計画新築工事：東急不動産株式会社

完成工事

- 金町浄水場高度浄水施設(三期)築造に伴う場内連絡管(2600mm)新設工事(シールド工事)：東京都
- (仮称) アル・プラザ城陽増築工事：株式会社平和堂
- (仮称) 神戸市東灘区・甲南町マンション新築工事：野村不動産株式会社
- (仮称) サミー川越流通センター新築工事：サミー株式会社

四半期連結財務諸表の概要

■ 四半期連結貸借対照表

(百万円)

	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日現在)
(資産の部)	
流動資産	143,108
固定資産	37,321
有形固定資産	14,323
無形固定資産	185
投資その他の資産	22,812
資産合計	180,430
(負債の部)	
流動負債	112,886
固定負債	24,628
負債合計	137,514
(純資産の部)	
株主資本	41,032
その他の包括利益累計額	447
少数株主持分	1,435
純資産合計	42,915
負債純資産合計	180,430

■ 四半期連結損益計算書

(百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
売上高	109,903
売上原価	105,443
売上総利益	4,460
販売費及び一般管理費	5,659
営業損失	1,198
営業外収益	372
営業外費用	672
経常損失	1,498
特別利益	32
特別損失	356
税金等調整前四半期純損失	1,821
法人税、住民税及び事業税	200
法人税等調整額	70
少数株主損益調整前四半期純損失	2,092
少数株主利益	1
四半期純損失	2,094

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,354
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,041
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,933
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,654
現金及び現金同等物の期首残高	37,734
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,080

○連結の範囲について

連結子会社7社及び持分法適用関連会社3社

(主要な連結子会社)

株式会社ガイアートT・K	(東京都新宿区)
テクノス株式会社	(愛知県豊川市)
ケーアンドイー株式会社	(東京都新宿区)
華熊營造股份有限公司	(台湾)

ポイント

■ 四半期連結貸借対照表

総資産は1,804億円と前期末に比べて201億円減少しました。これは、受取手形・完成工事未収入金等の減少等によるものです。また純資産は四半期純損失の計上等により前期末に比べて24億円減少の429億円となりました。なお自己資本比率は総資産の減少により前期末に比べ1.0ポイント改善し22.9%となりました。

■ 四半期連結損益計算書

売上高は前年同期と同水準の1,099億円となりましたが、完成工事総利益率の低下及び為替差損の発生等により経常損失は14億円となりました。四半期純損失は特別損失、法人税等の計上により20億円となりました。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

収支が概ね安定的に推移したことにより、営業活動は13億円の資金増加となりました。投資活動では既存設備の更新をしたことにより10億円の資金減少となりました。財務活動では借入金の返済を進めたことなどにより19億円の資金減少となりました。これらの結果、現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ16億円減少の360億円となりました。

CSR報告書の記事を一部ご紹介

無人化施工技術

無人化施工とは、災害などにより人が立ち入ることができない危険な場所において遠隔操作により建設機械を使用する施工をいいます。当社は、これまで雲仙普賢岳をはじめ多くの災害発生現場での被害が最小限になるように、地元の応急対策、復旧工事に貢献しています。



児童と保護者対象のシールドマシン見学会

広島市においてシールドトンネル工事を行っている松川地区下水道築造工事で、広島市主催の「水の施設」に関する見学会が行われ、近隣の小学生とその保護者ら約20名が参加しました。



協力会社との協業

熊谷組のものづくりにおける礎は協力会社とのパートナーシップです。鉄筋を組む、コンクリートを打設するといった実際の現場作業は、高い専門技術を有する協力会社が担います。主要な協力会社は熊土会（土木）、熊建会（建築）の組織を作り、熊谷組と一体となってよりよいものづくりに取り組んでいます。

ご希望の方にはCSR報告書をお送りします

本年7月に「熊谷組グループCSR報告書2012」（A4版、32ページ）を発行しました。当社グループの「ものづくり」の取り組み姿勢、環境、社会貢献に関する具体的事例を幅広く紹介しています。また、トップメッセージとして大田社長の「大転換期を迎えて」、特別報告として「東日本大震災からの復興に向けて」を掲載しています。

ご希望の方はメールまたはFAXで、「CSR報告書希望」と書き、送付先の郵便番号、住所、氏名を当社下記CSR報告書請求先までお知らせください。

なお、お知らせいただいた個人情報は、CSR報告書の送付のみに使用させていただきます。

CSR報告書請求先

（メールアドレス） info@ku.kumagaigumi.co.jp

（FAX） 03-5261-9665



発行済株式の総数	224,744,607株
普通株式	186,544,607株
第2回第1種優先株式	38,200,000株

株主数

普通株式	55,394名
第2回第1種優先株式	1名

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
株式会社三井住友銀行	普通株式 5,913	
	第2回第1種優先株式 38,200	19.80
	計 44,113	
熊谷組取引先持株会	普通株式 21,940	9.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	普通株式 5,255	2.35
有限会社京醒醐味噌	普通株式 4,835	2.17
熊谷組持株会	普通株式 4,831	2.16
熊谷組互助会	普通株式 3,883	1.74
株式会社ミネラルソフト	普通株式 3,704	1.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	普通株式 3,690	1.65
笹島建設株式会社	普通株式 2,880	1.29
熊谷太一郎	普通株式 1,796	0.80

(注) 1. 当社は自己株式1,962千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

取締役及び監査役

取締役社長 (代表取締役)	大田 弘	取締役 櫻野泰則
取締役副社長 (代表取締役)	新井克人	取締役 山崎 晶
取締役副社長	市川康生	常勤監査役 櫻井秀人
専務取締役	佐塚和夫	常勤監査役 竹間忠尚
専務取締役	石垣和男	監査役 篠原啓慶
専務取締役	草桶昌之	監査役 垣見 隆

(注) 監査役篠原啓慶及び垣見 隆の両氏は社外監査役であります。

執行役員

※執行役員社長	大田 弘	※執行役員 山崎 晶
※執行役員副社長	新井克人	執行役員 田代静夫
※執行役員副社長	市川康生	執行役員 堀田俊明
※専務執行役員	佐塚和夫	執行役員 大島邦彦
※専務執行役員	石垣和男	執行役員 香取光夫
※専務執行役員	草桶昌之	執行役員 土屋良直
専務執行役員	吉川 定	執行役員 渋川 智
専務執行役員	樋口 靖	執行役員 飯田 宏
常務執行役員	作本裕行	執行役員 小川嘉明
常務執行役員	永島 仁	執行役員 平島 司
常務執行役員	栗林 棟一	執行役員 今野穂信
常務執行役員	森次誠治	執行役員 西川邦隆
常務執行役員	小川 晋	執行役員 石澤正通
※執行役員	櫻野泰則	執行役員 高嶋正彦

(注) ※印は取締役兼務であります。

会社の概要

(平成24年9月30日現在)

創業 明治31年1月 資本金 133億4,116万2,615円
設立 昭和13年1月 従業員数 2,268名

主要な営業所等

本店
福井市中央2丁目6番8号
〒910-0006 TEL (0776) 21-2700

東京本社
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL (03) 3260-2111

北海道支店
札幌市中央区南1条西6丁目11番地
〒060-0061 TEL (011) 261-7271

東北支店
仙台市青葉区上杉5丁目3番36号
〒980-0011 TEL (022) 262-2811

首都圏支店
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL (03) 3260-4750

名古屋支店
名古屋市中区栄4丁目3番26号
〒460-8402 TEL (052) 238-3011

北陸支店
金沢市小金町9番18号
〒920-8721 TEL (076) 253-3100

関西支店
大阪市西区靱本町1丁目11番7号
〒550-0004 TEL (06) 6225-2226

中四国支店
広島市中区大手町4丁目6番16号
〒730-0051 TEL (082) 241-3222

海外拠点
中国(香港)、台湾、ベトナム、スリランカ

九州支店
福岡市中央区渡辺通4丁目10番10号
〒810-0004 TEL (092) 721-0011

国際支店
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL (03) 3235-8639

技術研究所
つくば市鬼ヶ窪1043番地
〒300-2651 TEL (029) 847-7501

株式インフォメーション

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、右記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、右記の電話照会先をお願いいたします。

単元未満株式の買増請求のお取扱いについて

単元未満株式(1,000株未満の株式)をご所有の場合、その単元未満株式数と併せて単元株式数(1,000株)となる株式数について、当社に買増請求をすることができます。お手続きの詳細につきましては、証券会社に口座を開設されている株主様は口座のある証券会社に、証券会社に口座を開設されていない株主様は、右記の電話照会先にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
剰余金の配当 毎年3月31日
そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所(郵便物送付先)
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-8701

東京都府中市日鋼町1番10
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-176-417
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載します。
<<http://www.kumagaigumi.co.jp/>>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所